

親子聖書日課

NO.1846 2024.2/11-17

名前

[日]アハブとの連合で失敗し、九死に一生を得たヨシャファトはもう一度初心に戻って、宗教教育に専念します。彼が戦争の過ちを悔い改めて、平和の福音を山地にまで巡回して語ったことに、民は心打たれ、主に立ち帰りました。彼に倣いましょう。

[月]「攻めて来る大軍を迎え撃つ力はなく…ただ主を仰ぐことしかできません」ヨシャファトは現実を直視し、自力では対処できない無力さを認め、主に助けを求めました。その時、主が戦ってくださることを知ります。現実から神に目を向けましょう。

[火]「今は賛美している場合ではない。戦うべきだ」という声が聞こえます。しかし、ヨシャファトは軍勢の前に聖歌隊を進ませ、敵に勝利するのです。「主に感謝せよ、その慈しみはとこしえに」と主に信頼して賛美するなら、人生に勝利があります。

[水]ヨラムは「惜しまれず、世を去った」悲惨な生涯でした。彼は主を信頼せず、弟達を皆殺しにし、偶像礼拝に陥ったからです。自己中心に生きたので、誰からも愛されません。「惜しまれて、世を去る」には、日頃から、神を愛し、人を愛することです。

[木]「親の言うことは聞きなさい」とは、必ずしも言えません。アハズヤの母アタルヤは「悪い勧めを与えたので」彼は主の目に悪を行います。鼻から息する人間に頼ってはいけません。主は「善い勧め」を与えてくださるので、主に聴き従いましょう。

[金]祭司ヨヤダは残忍なアタルヤの治世を終わらせるのに、6年待ちました。大事なことを進めるには、冷静が必要です。とかく待てずに、失敗する人が多いのです。時が来れば、「決意を固め」勇気をもって実行するなら、必ず、勝利の道は開けます。

[土]ゼカルヤのように正しいことを言ったために、殺されたらどうでしょう。「主よ、責任を追求して下さい」と言いそうです。しかし、主は十字架の上で、「父よ、彼らをお赦し下さい」と祈られました。その執り成しの祈りで、人々は悔い改めたのです。



	聖書	問題	答え
日	歴代誌下 19:1-11	ヨシャファトはどんな心で神を求めましたか。	
月	20:1-19	ただあなたをどうすることしかできませんか。	
火	20:20- 21:1	どんな者たちを任命して彼らの軍隊の先頭を進ませましたか。	
水	21:2-20	ヨラムはどうされることなく、世を去りましたか。	
木	22:1-12	この母が何を与えたので、彼もアハブの家の道を歩みましたか。	
金	23:1-21	7年目、ヨアブは何を固めましたか。	
土	24:1-27	あなたたちが主を捨てたから、主もあなたたちをどうしますか。	
		感想と祈りの課題	